

喜寿 おめでとうございます!



喜寿

小山 幹雄

1月で76歳です。ここまで大病もなく母親に感謝しています。

その母3月で102歳、元気に過ごしています。子ども3人それぞれ家庭を持ち、孫5人仲良く、すべて妻陽子に感謝です。

妻陽子の乳がん治療もひと段落で元気にしています。

これからの20年を・・・この5年で何ができるのか??

株式投資でわくわく、ドキドキ、運動・健康管理は社交ダンスで。夫婦仲良く穏やかに・・・

紫が喜寿の色

大角 雄三

喜寿をすぎて、もう余りの人生だとなると、気楽に生きられる気持ちになります。これからは、私自身が満足のいく、いい仕事をするを心掛けようと思っています。

お正月にお稲荷さんにおまいりした時に、喜寿のお守りを購入しました。紫が喜寿の色でした。



喜寿を迎えて

芝田 堅志

「人間（人の世）五十年、下天（人間界）の内をくらぶれば、夢まぼろしのごとくなり」（幸若、敦盛）。当時からすれば、今の喜寿（77才）は仙人の年齢です。（笑）あの世に旅立つ時に「もっと楽しんでおけばよかった」と言う人が一番多いそうです。私にとって35年のロータリークラブ人生は、その楽しみを大いに与えてくれました。自分の中に百通りの自分が存在するならば、その一つ一つを丁寧に生きて見るのも面白いと思います。思いの外早い有限の「生」を輝かしいものにする為に。

そして特筆事項は、よき伴侶に恵まれたことです。

喜寿を迎えて

田邊 敬三

この度、喜寿を迎えることができました。振り返ると、岡山後楽園ロータリークラブのチャーターメンバーとしての歩みは、私の人生において非常に大きな意味を持っています。クラブ設立当初から多くの仲間とともに地域貢献活動を行い、互いに切磋琢磨しながら成長してきました。会社経営とロータリー活動の両立は時に困難なこともありましたが、ロータリー精神に基づく「奉仕の心」が支えとなり、困難を乗り越える力となりました。喜寿という節目を迎え、これまでの活動に感謝し、今後も地域への貢献を続け、後輩たちへのサポートを惜しまない所存です。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

日本が国際連合に加盟した1956（昭和31）年3月20日に生まれ、今年で古希を迎えることになりました。俳優の竹中直人さんと同じ日の生まれだそうです。

1956年の日本人の平均寿命は男性64歳、女性67歳でしたが、現在では男性81歳、女性87歳。亡くなる最多年齢は男性86歳、女性91歳。人生90年時代といえる時代が到来しています。古希を迎え、少し頑張っ

て90歳までなるべく元気に過ごしてみたいということを自分自身の目標に掲げてみました。

五半期という言葉があるかどうか分かりませんが、私の場合、高校卒業までの最初の18年間は岡山で過

ごし、大学から最初の職業生活の第2・第3五半期の約38年間は、出向勤務で過ごした西独（ボン）と兵庫県（神戸）の約4年間を含め長く東京で過ごしました。そして第4五半期は、平日は岡山で働き実家で寝起き、週末は西宮の自宅で過ごすという二重生活。ロータリークラブで皆さまと一緒させていただいています。不思議と人生の節目を五半期毎前後に迎えていることを感じますが、古希を迎え、向後、感謝の気持ちを忘れず、笑いと学びの心を大切に、日々を重ねていきたいと思う新年です。

7回目の年男を振り返って ～患者や診療現場を知る臨床医～

池上 孝

干支占いでは、ヘビは十二支の中で最も謎めいた動物だそうです。

私の過去を振り返ってみると、全て自分自身の判断に従って行動を起こし、「こう」と決めたことには決して諦めず、高い理想を持ち続け、しばしば他人には甘く、自分には厳しく独創的で驚きを与え、注目される様な行動をとってきた為に、会員間の交流が疎かになったと思います。

多分最後の年男として、ライフワークである「噛み合わせ」について会員の皆さまに、私の夢を伝えたいと思います。

令和6年11月3日讀賣新聞で、長谷川耕平ハーバード大学医学部教授が日本の医療界、その中でも臨床と研究の間に壁があり、大学病院の勤務医は「長時間の診療」に追われて「より良い医療法」を探るための研究までは行えていないとは言えない。

米国の大学病院には「フィジシャン（医者）・サイエンティスト（科学者）」と呼ばれる人が「患者と診療」しながら研究も行う専門家がいます。

日本では患者を診る「臨床医」と研究を行う「研究医」があり、患者や診療現場を知る「臨床医」こそ、臨床現場で疑問を感じたことを研究しており、強みがあり、より良い医療の提供に繋がられるのです。

米国で15年以上「臨床例」から効果的な治療法を

研究し論文にして発表して日本初のエビデンスを世界に発信して行くべきと訴えています。

私が臨床歯科医として、結果の出た患者さんから学んだ「噛み合わせ」。

それは健康の3大要素である、快食・快眠・快便に繋がっていることと、ロコモティブシンドローム（運動器症候群）にも大きく関係していることです。

誰しも、年とともに身体も変化し、姿勢も悪くなり、頭・首・背中・腰・膝痛で苦しんでいる人が多い。

姿勢が悪くて、どちらかの足に負担がかかり続けると、股関節、膝関節はどうなりますか？

骨膜がすり減り、骨と骨が当たって傷つき、しびれ、痛みを訴えますが、現在の診断は画像診断が主流です。

そこで歯科的治療として、噛み合わせを変えることで両足にかかる負担が変わり、足にかかる比率が変わり、痛み、しびれが軽減したケースを見てきたのです。

全てが治るとは言えませんが、症状の改善した症例も目のあたりにしたのです。

症状が改善しない時には、外科的治療法になるでしょうが、メスを入れる前に歯科的方法もあるということを知っていただきたいとの思いです。

また、噛み合わせは認知症、介護予防にまで繋がっているのです。

「たかが噛み合わせ、されど噛み合わせ」なのです。

7回目の年男を迎えて思う

居森 正而

私、居森は1941年（昭和16年）1月生まれで今年7回目の年男を迎えて、84歳になりました。

今年度ロータリークラブ活動では社会奉仕委員会を担当していますが、委員会活動を計画しても、いざ活動となると体調不良で参加することができず、副委員長長の犬養さんにすべてをお願いしました。

やはり7回目の年男を迎える年齢ともなると、私だけだと思いますが、気力・体力・能力がかなり衰えて頭の回転も鈍くなっています。

今では、仕事の方からも完全に手を引いております。

危ないと感じましたので、運転免許証も返納いたしましたので、好きだったゴルフもやめました。

これからは天から与えていただいた人生を大切に、一日一日を明るく楽しく、実のある素敵な余生を過ごしていこうと思っています。

「高齢者」ではなく、「幸齢者」とであると心に想い、また、自分にとって今日という日は一番年をとった日ですが、今日よりもう若くなることはないとするれば、自分にとって「いちばん若い日」でもあります。そう思うと「今日」のありがたさが生まれると思い、一日一日

を大切にしていきます。

私の心惹かれる好きな言葉（詩）に、相田みつを作の詩（花はただ咲く、只ひたすらに）を心に抱き、平凡でもいいから心強く正しく余生を送ります。

終わりになりますが、全員の皆さま方の温かいお気

持ちが私の大変大きな活力となっております。

・・・もう少しだけ仲間に入れていただけることをお願い申し上げ、84歳の年男の想いといたします。ありがとうございました。

年男に思うこと

内山 満義

年男とはその年の干支（えと）にあたる男性を指す言葉です。満年齢で12の倍数の年齢が年男（としおとこ）となります。また同じ十二支になる男女のことを指します。

年男・年女、AIによりますと年男には役割があるそうです。

- 12年に1度の当たり年
- 節分の豆まき神事
- 歳旦祭、初太鼓を鳴らす人
- 正月の行事を取り仕切る
- 年男は縁起が良い

一定の役割を求められることが多いので、神様にご加護の願いが必要大切であります。

私は1953年2月17日生まれです。大学卒業後は一貫して好きなことをやってきました。生業はやはりスポーツ関係のこと、今日まで人一倍に頑張っただけです。また今日この頃は、終活をしていくことを望んでおります。このことに進んでまいりたいと思います。私は72歳になりますが、これまで人生という旅に出ています。また、志を持ち続けてまいりました。これからは私の25歳くらいからのモットー「生きるとは燃えながら暮らすこと」、このことで残りの人生の旅を続けます。

年男のご挨拶文書

土井 志郎

あっという間の... 60歳...

2025年、年男... 60歳になることで少し考えてみました。

日々、自分に与えられた立場のことをやることで精一杯で、中々ロータリーに参加できなくて申し訳ございません...

60歳という節目は、人生において重要な転機となる時期です。この年齢に達することは、数多くの経験や知識を積み重ねた証であり、新たな挑戦や目標を見つける機会でもあると思います... 第二の人生の出発点とも言えると思います。

まず、一般的には定年、およびカウントダウンを迎えることが多く、仕事を離れる不安感や寂しさとともに、自由な時間を利用して趣味や旅行、新たな学びに挑戦することは、心身の健康を保つためにとても重要なことだと思います...

今まで手が回らなかったことに取り組むことで、充実感を得ることもできます。

さらに、これからの人生は今までの知見を活かす

時期でもあります。長年の経験を通じて築いた人間関係や知識は、家族や友人、地域社会に大きな影響を与えるものです。また、子どもたちへのサポートや地域の活動への参加は、自分自身の存在意義を実感する良い機会でもあり、他者との繋がりを深めることにつながります。

健康面においても、60歳を過ぎると体調に気を付けなければなりません。定期的な運動やバランスのとれた食事を意識することで、より良い生活を送れる環境を整えることができます。また、心の健康も重要です。趣味を持つことやリラックスできる時間を設けることで、より豊かな人生を実現できます。

人生の後半戦を迎える60歳。新しい目標を見つけたり、これまでの経験を生かして新たな挑戦を楽しむことで、今後の人生はさらに充実したものになるでしょう。この時期をどのように過ごすかは、自身の人生にとって大きな意味を持つことと再認識いたしました。これからの人生を楽しみましょう。

移動例会、犬島日帰りツアー 第2960地区補助金プロジェクトについて 補助金活動委員長 内山 満義

2024年11月17日（日）に「犬島 日帰りツアー！」に行っていました。

この企画は、下記の3委員会合同での開催です。

- 補助金活動委員会：植樹、ベンチ寄贈
- 環境保全委員会：清掃活動
- 親睦活動委員会：親睦家族旅行

そしてわがクラブ初の試みで犬島での「移動例会」と企画満載のプロジェクトとなりました。

当日のスケジュールは下記のとおりです。

- 8:30～集合
（京橋栈橋 京橋クルーズチャーター便乗船）
- 10:00～犬島
（植樹活動 ベンチ寄贈 清掃活動）

続く▶

12:30～犬島自然の家
(例会 贈呈式 昼食)
13:30～犬島観光
(美術館 アート鑑賞 カフェ)
15:00～犬島出航
(瀬戸内海遊覧)
16:30 解散



親睦活動委員会も合同でわがクラブ設立以来、初の移動例会を県内、犬島にて補助金活動プロジェクトを実施しました。プロジェクト名は「ベンチ寄贈と地域植樹を行う」です。当日は快晴とは言えませんが、行事に支障なく予定通りの活動ができました。会員、ご家族合わせて総勢46名の参加でした。



2024-25年度 環境保全委員会 犬島清掃活動

環境保全委員長 小坂 和也



犬島での、ベンチ寄贈と植樹(桜・オリーブ)を終えた会員・会員ご家族、総勢46名は、引き続き、清掃用具セット(ごみ袋・火はさみ・軍手)を持ち、海岸に移動して、主に「プラスチックごみ」を回収する清掃活動をいたしました。

約1時間の短い時間ではありましたが、大量の「プラスチックごみ」を回収することができ、少しは、島のお役に立てたかなと思っています。

砂と岩で、足場の不安定な中、みなさん一生懸命作業していただき、本当にありがとうございました。感謝しかありません。

犬島旅行

補助金活動副委員長 荒木 裕之

去る11月17日、親睦家族旅行として犬島日帰りツアーが開催されました。当日は京橋栈橋から京橋クルーズチャーター便に乗船し、旭川を下りながら1時間ほどをかけて犬島に向かいました。船内では、乗務員の方から川沿いの建物や地域の歴史についてのアナウンスがあり、普段見ることのできない旭川から見る景色を見ながら、会員の方々にゆかりのあ

る土地を通り過ぎる時など、大きな笑い声が起こる場面もありました。普段なかなか行くことがない犬島に船で川を下りながら海へ出て、島に渡って行く。船での親睦旅行は初めてということもあり、とても新鮮で楽しい道りでした。

今回は親睦旅行だけでなく、3委員会の共同事業で行われ、植樹やベンチ寄贈、清掃活動も会員

続く▶

メンバーとご家族が島内で一緒に行いました。各委員会活動の枠を越えた取り組みにより、小さな離島という開放的な環境で、海辺を歩きながらの清掃活動や植樹での共同作業を通じ、会員メンバーだけでなくご家族同士の親睦もより一層深まったように思われました。車がほとんど通らない環境でこども同士が神社を駆け上がりながら遊ぶ姿も見られ、大人も移動は徒歩のみといった普段の生活ではなかなか味わうことのできない、小さな島ならではの体を使っ

た過ごし方ができ、とても良い刺激になりました。

当日は曇天でしたが雨は降らず、良い気候の中での旅行となり、また事故やケガ、急病者も居られず、穏やかな雰囲気の中、昼食後は島内散策を行いながらリラックスした午後を送ることができました。

帰りの船では少し遠回りをして船から見える島の説明を聞きながらの帰り道となり、島とチャーター船ならではの楽しさが詰まった犬島旅行でした。

献血支援活動

副幹事 大田 淳一

11/4(月)、岡山クリニックモールで開催された献血支援活動に参加いたしました。昨年は献血車が来ずに献血の協力チラシを配ただけでしたが、今年は献血車が来て実際に献血する方の支援を行いました。



た。私は仕事の関係でお昼までしか対応できなかったのですが、献血にご協力いただける方の人数は、コロナ前に比べて非常に少なかったようです。献血車を目の当たりにすると、献血の重要性や大切さを改めて実感しました。そこで、私も生まれて初めての献血にチャレンジしましたが、残念ながら献血することができませんでした。社会奉仕活動として定期的に献血をされている犬養さんがうらやましかったです。忙しい普段の仕事から離れて奉仕活動をしていると、なぜか心が洗われるような気持ちになります。ギスギスとした世の中、改めて奉仕活動の大切さを思い出させていただいた一日でした。ありがとうございました。

岡山後楽園一斉清掃活動

環境保全委員長 小坂 和也

2024年12月1日(日)、午前7時半から午前8時半まで、「岡山後楽園事務所」が主催する、「キラリ応援隊一日隊」に参加いたしました。

例年、12月第一日曜日に、開催されるこの行事に、われわれ「岡山後楽園ロータリークラブ」は、毎年、会員・会員ご家族で参加させていただいています。

今回は、会員12名・会員ご家族4名、総勢16名で参加いたしました。

わがクラブ以外にも、多くのボランティアの方々が参加されており、総勢約100名が、清掃活動をいたしました。

われわれは、第3班に配属され、「鶴舎」の先、「沢の池」付近の松林を清掃いたしました。

1時間の清掃活動で、松林は見違えるほど、綺麗に変貌しました。

朝早くから、参加していただいた会員・会員ご家族の皆さま、お疲れ様でした。



ドリード・プラス交流戦

青少年奉仕委員長 三村 勇人

12月7日(土)、岡山県営球場にて、小豆島クラブおよび県北ベースボールクラブを招いて、ドリード・プラス交流戦が開催されました。開会式で岡本会長が主催者挨拶を行い、冬の凛とした空気の中、大会が始まりました。

当日は好天無風の絶好の野球日和、対戦前の少年たちの練習そして本番の対戦はとてもキビキビしており、会員一同大変すがすがしい思いで観戦していました。

今回の試合は中学生にとって、軟式から硬式に切り替わり、中学のチームとは違うポジションを守って戸惑ったこともあり、プレーに緊張感があつたとのことでしたが、一生懸命プレーされる少年たちの気持ちの良い挨拶、道具に対する扱いなどさすがだなと感じました。これは、平素からの指導者の皆さんと少年たちとのコミュニケーションの良さが表れているものと思いました。

続く▶

この交流戦を観戦し、少年たちを見ていて、少年たちの一途で元気はつらつなプレーに魅了され、上達したい気持ちを持つ選手だけがチームに参加していると実感し、仲間同士の結束やコミュニケーションが本当に必要だと確信し、この中から、将来プロ野球選手が生まれるかもしれないと実感いたしました。



このような交歓試合の始球式に登板する栄誉を与えていただき感謝しております。

最後に来年度の青少年奉仕委員長を女性が務められますので、岡山後楽園ロータリークラブ主催の野球大会で、女性初の始球式が見られることを期待しております。

丸亀東ロータリークラブ親睦ゴルフコンペ

ロータリー財団副委員長 守田 敏英

昨年12月21日に毎年恒例の丸亀東ロータリークラブとの親睦ゴルフコンペが開催されました。

当日は、今季一番の冷え込みとの予報が出ていたため寒さについてかなり覚悟をして、会場である満濃ヒルズカントリークラブへ乗り込みましたが、朝一はそれなりに冷え込んでいたものの、スタートする頃には寒さも落ち着き、晴天の影響もあってかむしろ暖かいくらいの中でのプレーでした。ちなみに犬養会員は寒さに備えて長ズボンで来られてましたが、いつもの短パンでくればよかったと悔やまれてました。

個人成績については、いつも上手なあの人が・・・的なこともありつつ、それぞれの思いを抱えながら事故やけがもなく無事に終了することができました。

そして、ダブルペリアというハンドの魔法を使って、内山会員が見事個人優勝を飾りました。

また、団体対抗戦についても、内山会員をはじめとする上位4人、渡辺

啓介会員、岡本会長、犬養会員の成績が、丸亀東の上位4人の成績を上回り見事勝利することができました。

春に続き2連勝となり、岡山後楽園ロータリークラブの黄金時代の幕開けを感じさせるコンペとなりました。

次回は通常であれば、わが岡山後楽園ロータリークラブの主催で春に開催となる予定でしたが、今年は特別に丸亀東ロータリークラブの50周年記念式典にあわせて、丸亀東ロータリークラブの主催で、今回と同じ満濃ヒルズカントリークラブでの開催になる予定です。

次回も多くの会員で参加して、3連勝といきたいものですね。



クリスマス家族会

親睦活動委員長 菅波 洋平

12月22日の日曜日にクリスマス家族会が開催されました。

聞いたところによると、今まで日曜の開催は初めてとのことで、会員および御家族の方には日程調整で御迷惑お掛けし申し訳ありませんでした。

私がこの度、担当の委員長として準備させていただきましたが、入会してクリスマス家族会に2回しか参加しておらず、このような企画が務まるのか不安で仕方ありませんでしたが丸山さんをはじめ、先輩方のアドバイスをちょうだいしながら早くから準備に取り掛かりました。

催しではシンガーソングライターのオリヅルカオリさん、ジャックスパロウに変装した中本一也さんと事前打ち合わせをしていく過程において色んな提案も出て、準備が楽しくなったのを覚えております。

司会をしながらの私の感想としましては、オリヅルカオリさんの演奏は素晴らしい歌唱力でディズニー曲などを歌われ、お子さまたちが喜んでるのが見受けられたのと、ジャックスパロウのショーは本物と勘違いするほど似ており、入場時のインパクトは最高の雰囲気になり、その後に手品やカクテルを作るジャックスパロウとなったギャップが面白く、皆さん喜んでいただけたのかなと感じております。

サンタとトナカイによるクリスマスプレゼントでも元気のいいサンタさんでしたのでお子さまたちも喜んだことだと思います。

ビンゴ大会もありましたが、親睦活動委員の皆さんで手分けをし、進行できたのが何よりうれしかったです。

今回は委員長として、クリスマス家族会を開催する

続く▶

にあたり、会員の皆さんのアドバイスやご協力をいただきながら、無事開催でき、良い経験をさせていただいたことに感謝しかなく、ありがとうございました。

それとこのような例会は、ご家族の方の参加ができる唯一の機会ですので会員相互の親睦に繋がればうれしい限りです。

クリスマス家族会に初参加して

親睦活動委員 渡辺 雅洋

12月22日（日）アークホテル岡山にて、会員、ご家族総勢89名と多くの方のご参加により開催されました。

私は、今年初めてクリスマス家族会に息子2人と参加させていただきました。

久しぶりの例会への参加でしたので、アペリティフコーナーを囲み先輩会員の皆さまにご挨拶できたことを大変嬉しく思っております。

まずは、岡本会長により開会の挨拶で始まり、三村幹事乾杯の挨拶で夜間例会が開始しました。

オリヅルカオリさんの中島みゆきの「地上の星」はとてもお上手で驚きました。クリスマスソングなども歌っていただき盛り上がっていました。

岡本会長サンタと三村幹事トナカイの登場に、子どもたちの喜ぶ顔がとても素敵でした。

中本さんの「ジャックスパロウショー」は正直、クオリティが高すぎて興奮しました（笑）。

また、バーテンダーとマジシャンとしての才能を兼ね備えていらっしゃることに二度驚きました。

ビンゴゲームも沢山の景品が当たり凄く楽しい時間を過ごすことができました。

今後もこのような素晴らしい家族会を開催され、ご家族の皆さまや会員の皆さまの親睦がより一層深まることを心から願っております。

ロータリークラブクリスマス家族会

親睦活動委員 渡辺 啓介

先日、ロータリークラブのクリスマス会に家族で初めて参加させていただきました。

このクリスマス会は、会員同士の親睦を深めるだけでなく、地域社会への感謝の気持ちを再確認する素敵な会でした。

プログラムは多彩で、まずは会長の挨拶から始まり、会長の言葉には、今年の活動を振り返るとともに、来年への期待が込められており、会員一同の士気を高めるものでした。

その後、ORI-ZURUKAORIさんの素敵な歌声、ジョニーデップさんの手品、カクテル作成、ビンゴゲームなど参加者全員が一体となってとても盛り上がりました。

また、クリスマスの特別メニューも楽しみの一つでした。美味しい料理を囲みながら、会話が弾み、笑

い声が絶えませんでした。最後には、サンタクロースからのプレゼントもあり、子どもたちの喜ぶ姿がとても微笑ましかったです。私の家族もこのイベントに参加し、特に子どもたちはサンタクロースからのプレゼントに大喜びしていました。家族全員が楽しいひとときを過ごし、素晴らしい思い出ができたことに感謝しています。

この素晴らしいクリスマス会を準備してくださった方々に心から感謝申し上げます。

おかげさまで、楽しいひとときを過ごすことができました。このイベントを通じてロータリークラブの一員であることの喜びを再確認し、地域貢献の重要性を改めて感じました。来年もこのような素晴らしいイベントが続くことを心から願っています。



11月	12月	1月
7日 缶詰から始まる物語 ネイリスト 三好 千尋 様	5日 年次総会	2日 取りやめ
17日 地区補助金事業例会 (犬島)	12日 消化器がんの今と未来 —がんを見つけるのではなく、「がんになりそうな人」を見つける— 岡山大学学術研究院歯科薬学域 消化器・肝臓内科学 教授 大塚 基之様	9日 1月生まれのスピーチ 1月生まれの会員
21日 取りやめ	19日 取りやめ	16日 1月生まれ・年男のスピーチ 1月生まれ・年男の会員
28日 11月生まれのスピーチ 11月生まれの会員	22日 クリスマス家族会	23日 創立記念例会・優良従業員表彰 深井 豊久 職業奉仕委員長
		30日 取りやめ

11月	12月	1月
4日 献血支援活動 MAK岡山クリニックモール	28日 第3回ビジョン委員会 アークホテル岡山	21日 次期クラブロータリー財団委員長 研修会・地区補助金セミナー 米子コンベンションセンター
7日 第5回地区補助金事業打ち合わせ アークホテル岡山	1日 岡山後楽園一斉清掃 岡山後楽園	21日 坂口元昭地区ガバナーエレクト 国際協議会ご出席壮行会 ANAクラウンプラザホテル米子
7日 第10回理事会 アークホテル岡山	4日 第2回地区行動計画 推進リーダー研修会 Zoom	21日 丸亀東RC親睦ゴルフ 満濃ヒルズゴルフ倶楽部
9日 第1回次期ガバナー補佐会 ANAクラウンプラザホテル米子	5日 親睦活動委員会打合せ アークホテル岡山	9日 第12回理事会 アークホテル岡山
9日 岡山和文化フェスティバル園遊会 岡山後楽園	5日 第11回理事会 アークホテル岡山	11~12日 ロータリー米山記念奨学生 面接選考会 岡山国際交流センター
17日 地区補助金事業 犬島	5日 臨時理事会 書面	16日 2025-26年度第2回理事会 アークホテル岡山
25日 世界社会奉仕 プロジェクトミーティング Zoom	7日 ドリード・プラス交歓試合 岡山県営グラウンド	23日 第4回臨時理事会 持ち回り・アークホテル岡山
28日 第3回臨時理事会 持ち回り・アークホテル岡山	21日 第2回次期ガバナー補佐会 ANAクラウンプラザホテル米子	



11月7日
缶詰から始まる物語
ネイリスト 三好 千尋 様



12月12日
消化器がんの今と未来
—がんを見つけるのではなく、「がんになりそうな人」を見つける—
岡山大学学術研究院歯科薬学域
消化器・肝臓内科学 教授 大塚 基之様



編集後記

クラブ会報委員 藤原 學

喜寿、古希、年男の皆さまおめでとうございます。
健康でますますロータリー活動をエンジョイしていただけますことを祈念いたします。
本年度の行事が一番多い三ヶ月でした。会報3号もボリュームがあり楽しい企画満載でした。
今後も記憶に残る思い出の行事を記事にしていきたいです。
寄稿していただきました会員の方々に感謝申し上げます。

発行 2025年2月13日
岡山後楽園ロータリークラブ
編集 クラブ会報委員会
印刷 有限会社 藤原印刷